

【基本目標 3】日常生活が便利で、誰もが快適に暮らしている

＜重点目標 3-1＞【都市環境】便利で、快適な都市環境が実現している

《個別目標 3-1-1》計画的なまちづくりの推進

◆ 現状と課題

- ・ 別府ならではの個性あるまちづくり、地域の個性をいかした魅力あるまちづくりが求められている。限られた財源の中で市民の満足度の高いまちづくりを行うためには、市民との協働による計画的な取組が必要となっている。

◆ 実現したい「このまちのかたち」

- ・ 都市計画に関する基本的な方針の下、市街地の整備や土地利用の規制誘導等、市民と行政の協働での計画的なまちづくりを推進し、それぞれの地域や地区にふさわしい個性をいかした魅力があふれている。

◆ 主な成果指標

	指標	基準値 [平 26]	目標値 [平 31]	目標設定の根拠
①	南部振興の取組状況	—	平 28 策定予定の基本構想等を踏まえて設定	—

◆ 具体的な施策

(1) 適正な土地利用の促進

- ① 用途地域・都市計画施設の見直しなどを行うとともに、地区計画等の指定による建築物の規制等を図る。
- ② 地籍調査を推進し、地籍簿及び地籍図の作成により土地利用の促進を図る。

(2) 重点的なまちづくりの推進

- ① 地域の特性をいかした面的な整備を重点的かつ集中的に推進する。

◆ 関連計画

計画名	策定年月	計画期間
別府市都市計画マスタープラン	平 23 年 4 月	平 23～平 42
別府市国土利用計画	平 12 年	—
亀川地区都市再生整備計画	平 26 年 2 月	平 25～平 29

《個別目標 3-1-2》海岸や水辺の整備と活用

◆ 現状と課題

- ・ 本市の海岸線において、防護、利用、景観に配慮された整備が進められ、餅ヶ浜地区等の整備完了地区では、散歩やジョギング等の日常的な利用があるものの、そのストック効果を十分にいかされていない状況にある。
- ・ 国、県と協力し、ストック効果をいかし、にぎわいのある海辺空間を創生するため、「ひとの創生」、「まちの創生」の施策の一つとして、公民連携による取組が求められている。

◆ 実現したい「このまちのかたち」

- ・ 変化に富んだ海辺の自然空間をいかした港湾・海岸が整備され、海辺に人々が集い、にぎわっている。
- ・ 海岸や水辺に人々が集うことにより、コミュニティの醸成と文化交流が行われている。

◆ 主な成果指標

	指標	基準値 [平 26]	目標値 [平 31]	目標設定の根拠
①	ビーチを活用した年間イベント開催数(新規分)	—	6 件	未来共創戦略(p28)
②	餅ヶ浜海浜公園の清掃ボランティアの延べ参加者数	420 人	1,680 人	対象地区の清掃回数を 1 回から 4 回に増やす。

◆ 具体的な施策

(1) **戦略**海岸・ビーチの活用のための主体的管理の実現(ビーチを活用したまちづくり)(p28)

- ① 海岸線を市が管理することで、美しい別府の海岸・ビーチの実現に取り組む。
- ② 大分県が海岸管理者として海岸保全施設の整備及び維持管理を実施しているが、本市も海岸の維持管理に参画することを検討する。
- ③ 施設の整備、海岸の維持管理を行い、美しい海岸を実現させ、まちづくりの資源として活用することに取り組む。

(2) **戦略**海岸・ビーチを活用した市民のコミュニティ醸成と文化交流(p29)

- ① 市民が日常的にビーチを利活用し、コミュニティの醸成と文化交流が図れるよう環境の整備とイベントを実施する。
- ② 新たな人の流れを創ることに加え、市民のコミュニティの醸成と文化交流にも活用する。
- ③ ビーチと周辺施設との利用上の一体性確保と海辺の公園整備に取り組む。

(3) **戦略**ビーチを利用したイベントの推進(p22)

- ① ビーチスポーツの誘致や各種ビーチイベントの実施に取り組み、新たな人の流れの創出を促進する。

(4) 河川(水辺)整備の促進と清掃活動の推進

- ① 普通河川の改修と管理を行うとともに、境川など二級河川については管理者である大分県に計画的な整備を要請する。
- ② ボランティア団体による河川の維持管理活動を支援するとともに、市主催の清掃活動などで快適な水辺空間の確保を促進する。

◆ 関連計画

計画名	策定年月	計画期間
別府市都市計画マスタープラン	平 23 年 4 月	平 23～平 42
べっふの海辺利活用推進計画及び管理計画(仮称)	策定予定	—

《個別目標 3-1-3》緑のまちづくりの推進

◆ 現状と課題

- ・ 良好な緑を守りたいという市民の意識は徐々に高まっているが、日常生活の利便性や経済活動が優先され、まちの緑が失われつつある。
- ・ 公園に対する市民の要望が多様化している一方で、公園施設の老朽化やそれに伴う維持管理費用が増大しており、市民ニーズに対応した公園を整備することが困難となっている。

◆ 実現したい「このまちのかたち」

- ・ 潤いや安らぎを与える緑の景観が海辺、山辺、水辺(河川)にあふれている。
- ・ 花と緑を守り、育てる市民意識が高まり、まちの緑や公園が市民の手により、四季折々の草花で美しく維持されている。
- ・ 多くの市民や観光客が機能豊かな公園で、思い思いの時間を過ごしている。

◆ 主な成果指標

	指標	基準値 [平 26]	目標値 [平 31]	目標設定の根拠
①	市民1人当たりの公園面積	7.4 m ² /人	9.5 m ² /人	環境目標達成プラン
②	市街化区域内における持続性のある緑の割合	約 16%	約 23%	緑の基本計画 環境目標達成プラン

◆ 具体的な施策

(1) 戦略1日中過ごせる公園の実現(p29)

- ① 鉄輪地獄地帯公園の拡大整備を行い、公園の機能拡充を図ることを検討する。
- ② 公園に移動カフェや読書スペースなどを整備することを検討し、公園の新しい過ごし方を提案する。

(2) 安全安心な公園・緑地の整備

- ① 誰もが安心して安全に利用できる公園づくりを進める。

(3) 緑の保護・育成・啓発

- ① 公共施設の緑の保護を推進するよう努めるものとする。

◆ 関連計画

計画名	策定年月	計画期間
別府市都市計画マスタープラン	平 23 年 4 月	平 23～平 42
別府市緑の基本計画	平 19 年 3 月	平 19～平 37
別府市環境基本計画(第2次)	平 23 年 3 月	平 23～平 32
別府市環境目標達成プラン(第2次)	平 27 年 3 月	平 27～平 29
別府市公園施設長寿命化計画	平 26 年 3 月	平 26～平 36

《個別目標 3-1-4》安全安心な道づくりの推進

◆ 現状と課題

- ・ 道路の幅が狭い箇所や段差があるため、ベビーカーや車椅子などでの通行が困難な箇所が存在する。
- ・ 道路や橋梁については、高度経済成長期に整備されたものが多く、老朽化などにより事故発生リスクが高まっている。維持管理費や更新費用の増加が見込まれることから、長寿命化や予防保全の取組が求められている。

◆ 実現したい「このまちのかたち」

- ・ 快適な歩行者空間が整備され、市民や訪れた人誰もが安心して安全に歩ける道が整備・維持されている。

◆ 主な成果指標

	指標	基準値 [平 26]	目標値 [平 31]	目標設定の根拠
①	長寿命化修繕計画による対策が必要である橋梁の補修率	18.8%	62.5%	別府市橋梁長寿命化修繕計画

◆ 具体的な施策

(1) 戦略世界一のユニバーサルデザイン環境に向けた整備(p30)

- ① ユニバーサルデザインの世界先進地を目指し、環境整備と情報発信に取り組む。
- ② 観光客向けのバリアフリーのみならず、子育て世代が気兼ねなく旅行できる環境を整備し、宿泊施設からベビーカーの貸出しや赤ちゃんの駅の普及などに取り組む。ベビーカーがスムーズに利用できるような道路の整備・歩道の拡幅についての取組も検討する。

(2) 道路の交通安全対策の実施

- ① 交通安全対策として、事故発生割合の高いエリアを対象に、路側帯のカラー化、歩道のバリアフリー化、交差点の高視認性区画線の設置を進める。
- ② 舗装の老朽化や緊急避難路の橋梁の点検を行い、事故の未然防止、道路施設の適切な維持管理を行うとともに、長寿命化を図り、維持管理コスト等の縮減も図る。
- ③ 別府駅周辺等の放置自転車対策を行い、快適な歩行者空間を確保する。

(3) 協働による道路の保全・美化活動の推進

- ① 郵便局等と道路損傷等による危険箇所の情報提供協力に関する協定や覚書を締結し、事故の未然防止を図る。

◆ 関連計画

計画名	策定年月	計画期間
別府市交通バリアフリー基本構想	平 17 年 3 月	—
別府市橋梁長寿命化修繕計画	平 24 年 3 月	—
別府市交通安全計画(第10次)	策定予定	平 28~平 32

《個別目標 3-1-5》景観の保全と育成

◆ 現状と課題

- ・ 温泉と湯けむりを中心とした本市特有の景観は、市民意識調査において最も満足度が高い項目として挙げられており、市民共有の財産となっている。

◆ 実現したい「このまちのかたち」

- ・ 本市の象徴的な景観として、『湯けむり立ちのぼり、海・山・緑に包まれ、心和む風景のまち「べっふ」』が実現している。
- ・ 本市の観光資源として景観が活用されており、次世代へと受け継がれている。

◆ 主な成果指標

	指標	基準値 [平 26]	目標値 [平 31]	目標設定の根拠
①	景観形成重点地区等の指定	2 地区	4 地区	別府市の景観の形成に関する基本的な方針

◆ 具体的な施策

(1) 山並みと湯けむりの眺望景観の保全

- ① 緑の山並みと温泉湯けむり景観に影響を及ぼす建築物等や開発等について、景観法²²や別府市景観条例に基づき、周囲の景観と調和するよう規制・誘導を図る。

(2) 街並み景観の形成

- ① 別府市景観条例に基づく重点景観計画や地区計画制度などを活用し、住民との協働による快適な街並み景観の形成を図る。

◆ 関連計画

計画名	策定年月	計画期間
別府市景観形成マスタープラン	平 19 年 3 月	—
別府市景観計画	平 21 年 4 月	—

²² 景観法制研究会編『概説景観法』（ぎょうせい・2004）、景観法制研究会編『逐条解説景観法（ぎょうせい・2004）、坂和章平『Q&Aわかりやすい景観法の解説』（新日本法規・2004）

《個別目標 3-1-6》生活排水対策の充実

◆ 現状と課題

- ・ ライフスタイルの変化に伴い、自然の浄化能力を超える家庭等からの生活排水が川や海における水質汚濁の主な原因となっている。
- ・ 下水道整備のための財源不足や既存施設の老朽化に伴う維持管理費用の増大、人口減少に伴う整備対象区域の見直しなどが課題となっている。
- ・ 下水道整備対象区域外については、合併処理浄化槽の設置及び適正な維持管理が求められている。

◆ 実現したい「このまちのかたち」

- ・ 中期的な視点に基づく効率的・効果的な生活排水対策が行われ、市民の衛生的で快適な暮らしが守られるとともに、川や海の水質が保全されている。

◆ 主な成果指標

	指標	基準値 [平 26]	目標値 [平 31]	目標設定の根拠
①	汚水処理人口普及率 (下水道)	65.2%	66.2%	別府市生活排水処理施設 整備構想
②	水洗化率	83.1%	83.7%	別府市生活排水処理施設 整備構想
③	合併処理浄化槽人口 普及率	11.2%	14.0%	別府市生活排水処理施設 整備構想

◆ 具体的な施策

(1) 未整備地区の下水道整備の推進

- ① 下水道未整備地区を中心に長寿命化計画により、効率的・効果的な下水道施設の改築更新等を行いながら、市民のニーズに沿った整備を進める。

(2) 公共下水道への接続の促進

- ① 生活環境の改善や施設の利用効率を高めるため、水洗便所改造資金貸付制度による費用負担の軽減を図り、公共下水道への接続を促進する。

(3) 公共下水道事業への地方公営企業法の適用及び健全な経営の推進

- ① 経営状況や財政状況を明確にし、独立採算による健全経営を実現するため、公共下水道事業に公営企業会計を適用する²³。
- ② 将来にわたり持続的にサービスを提供できるよう、経営基盤を強化し、計画的かつ合理的な経営を行う。

(4) 合併処理浄化槽の設置及び適正な維持管理の促進

- ① 下水道整備対象区域外の世帯については、合併処理浄化槽の設置を促すとともに、設置された浄化槽の適正な維持管理を促進する。

◆ 関連計画

計画名	策定年月	計画期間
別府市生活排水処理施設整備構想	平 27 年 3 月	平 27～平 46
別府市公共下水道事業計画	平 28 年 3 月	平 28～平 33
別府市公共下水道長寿命化計画(処理場・ポンプ場)	平 28 年 3 月	平 28～平 32
一般廃棄物(生活排水)処理基本計画	平 27 年 3 月	平 27～平 41
別府市し尿処理場春木苑施設整備基本計画	平 27 年 3 月	—

²³ 「今後の地方公会計の整備促進について」(平成 26 年 4 月 30 日総財務第 84 号)

《個別目標 3-1-7》安全安心な居住環境の整備

◆ 現状と課題

- ・ 市営住宅の老朽化に伴い、住宅機能・整備面において利用者ニーズが増大しており、特に、高齢者・障がい者・子育て世帯等に対して安心して暮らせる住宅の整備が早急に求められている。
- ・ 地震時における住宅の被害を軽減するため、耐震基準を満たしていない木造住宅の耐震化を促すことが必要である。
- ・ 全国的に空き家の増加が社会問題化しており、本市でも 1,010 戸の空き家が確認されている。今後は、国の基本指針に即した空家等対策計画を策定し、空き家等の適正な管理の重要性や管理不全の空き家等がもたらす問題について、検討を行うことが必要である。

◆ 実現したい「このまちのかたち」

- ・ 市営住宅ストックを効率的かつ円滑に更新し、高齢者・障がい者・子育て世帯等に対する住宅など、市民ニーズに対応した住宅が整備されている。
- ・ 民間木造住宅の耐震化が進められ、地震に強い安全な住環境が整備されている。
- ・ 空き家が適正に管理され、利用可能なものは有効に利用されている。

◆ 主な成果指標

	指標	基準値 [平 26]	目標値 [平 31]	目標設定の根拠
①	空家除去補助件数(累計)	—	16 件	一年に特定空家 4 件の除去を目指す。

◆ 具体的な施策

(1) 高齢者・障がい者・子育て世帯向け住宅を含めた市営住宅の供給とバリアフリー化の推進

- ① 高齢者・障がい者向け住宅のバリアフリー化への改修を進める。

(2) 老朽化した市営住宅の改善と更新

- ① 老朽化した住宅の計画的な改修や建替え等を行うとともに、既設住宅の適正な管理と整備を行う。

(3) 民間木造住宅の耐震化の推進

- ① 市報、ケーブルTV及び戸別訪問を通して、市民の耐震化への関心を高めるとともに、耐震化への助成制度の周知に努め、民間木造住宅の耐震化を進める。

(4) 空き家対策の推進

- ① 市内の空き家の実態調査を行い、空き家の利活用や管理不全空き家の発生防止を進める。

◆ 関連計画

計画名	策定年月	計画期間
別府市公営住宅等長寿命化計画(改定版)	平 28 年 3 月	平 28～平 37
別府市空き家等対策計画	策定予定	平 29～平 33

《個別目標 3-1-8》地域公共交通の整備・充実

◆ 現状と課題

- ・ 市民や観光客も市内の移動に際しては、自家用車の依存度が高く、自家用車を利用できない高齢者や障がい者等の交通弱者、外国人観光客、留学生が移動に支障を来している。
- ・ 高齢者の中には、交通が不便な地域に居住しているため、運転免許証の自主返納ができない。
- ・ 高齢者にとって移動が困難であることにより、外出機会の創出や社会活動への参加が阻害される。

◆ 実現したい「このまちのかたち」

- ・ 住民・行政・交通事業者が協働して、公共交通の役割を踏まえ、地域に合ったより適切な移動支援策に取り組んでいる²⁴。
- ・ 市民も観光客も誰もが便利で快適に移動できる公共交通網ができ、交通弱者の移動手段が確保されている。
- ・ 観光客にとって二次交通の利便性が向上することにより、観光周遊がしやすくなり、観光産業が更に活発化している。

◆ 主な成果指標

	指標	基準値 [平 26]	目標値 [平 31]	目標設定の根拠
①	ワンコインバスの取組状況	—	平 27 の状況を踏まえ設定	未来共創戦略(p28)

²⁴ 秋山哲男・吉田樹『生活支援の地域公共交通 路線バス・コミュニティバス・STサービス・デマンド型交通』（学芸出版社・2009）

◆ 具体的な施策

(1) **戦略**生活利便性向上に向けたワンコインバスの整備(p28)

- ① 公共交通に関する基本的ニーズの充足を目指し、市民の社会参加を更に促す。
- ② 山間地を中心に生活道路に直接乗り入れ可能な交通手段の導入に向け、ワンコインで利用できる交通手段(タクシー・バス)の整備を検討する。
- ③ 山間地に居住する高齢者の移動手段にワンコインバスを利用することで、買い物や通院などの外出を支援する。
- ④ 「ワンコインバス」の定義・対象・利用者の要請などを整理し、地域公共交通網形成計画の策定や実証運行などを通じて、その実現に取り組む。

(2) **戦略**二次交通の利便性向上(p19)

- ① 観光における二次交通手段として、バス網(ワンコインバスなど)の改善を検討する。
- ② 交通事業者との連携を図りながら、「ワンコインバス」などの運用も検討する。
- ③ ワンコインバスについて、地域公共交通網形成計画の策定や実証運行などを通して、その実現に取り組む。

◆ 関連計画

計画名	策定年月	計画期間
別府市地域公共交通網形成計画	平 28 年 3 月	平 28～平 32

<重点目標 3-2>【水道】安全でおいしい水道水が安定的に供給されている

《個別目標 3-2-1》おいしい水の安定供給

◆ 現状と課題

- 本市の水道施設は、昭和40年代から50年代にかけて集中的に整備されたことから、更新時期を迎えているとともに、基幹管路や水道施設の耐震化事業、さらには水道施設の集中管理のための改善事業なども必要となっている。人口減少に伴い水需要が減少する中で、水需要に応じた設備更新が求められている。

◆ 実現したい「このまちのかたち」

- 水道施設の適切な更新や徹底した衛生管理が一層進められ、市民の満足度の高い安全でおいしい水が安定して供給されている。
- 中長期的な視野に立った経営戦略に基づき、コストの縮減と効果的な人材育成・技術継承により、安定した水道事業経営が行われている。
- 社会要請に対応した環境への負荷の小さい配水が実現しているとともに、市民ニーズに対応した水道サービスが提供されている。

◆ 主な成果指標

	指標	基準値 [平 26]	目標値 [平 31]	目標設定の根拠
①	基幹管路耐震化率	40.5%	—	平 28 年 12 月策定予定の「別府市水道事業拡張基本計画(第 8 期)」を基に目標値を定める。
②	有収率 ²⁵	85.82%	—	平 28 年 12 月策定予定の「別府市水道事業拡張基本計画(第 8 期)」を基に目標値を定める。

²⁵ 有収率：配水された上水（配水量）のうち、料金として徴収される水量（有収水量）の割合である（『六訂 地方財政小辞典』（ぎょうせい・2011）540 頁）。

◆ 具体的な施策

(1) 安全でおいしい水の供給

- ① 良質な水源の確保・保全と水質検査の充実を図るとともに、鉛製給水管取替事業の推進や貯水槽水道の適切な指導に努め、安全で安心できる水の供給を行う。

(2) いつでも使える水の確保

- ① 老朽施設の更新、耐震化や浄水場の施設整備を進める。
- ② 漏水防止対策と配水システムの構築に努めるとともに、自然災害などに備えて危機管理体制を強化し、安定的な給水を行う。

(3) 自然にやさしい水づくり

- ① 扇状地の地形を利用した配水や水道工事のコスト縮減により、効率的な運用を図る。
- ② 太陽光発電、省エネ型車両の導入や廃棄物の有効利用により環境に配慮した事業運営に努める。

(4) お客様満足度の向上

- ① 水道事業に対する幅広い意見を求め、ホームページでの公表と意見集約を行い、利用者ニーズの把握に努める。
- ② 窓口サービスの充実や料金システムの検討を図り、利用者に一層満足される事業運営を目指す。

(5) 経営戦略の策定と経営基盤の強化

- ① 保有する資産の老朽化に伴う大量更新期の到来や人口減少等に伴う料金収入の減少等により、経営環境は厳しさを増しており、不断の経営健全化の取組が求められる。このような中、将来にわたりサービスを安定的かつ継続して提供するため、経営戦略を策定し、計画的かつ合理的な経営による経営基盤の強化を図る。
- ② 組織機構、業務委託などの見直しを行うとともに、業務の効率化やコスト縮減に取り組み、財務体制の健全化を図る。
- ③ 職員の人材育成を進めるとともに、情報通信技術の活用による経営体制の効率化に努める。

◆ 関連計画

計画名	策定年月	計画期間
別府市地域水道ビジョン	平 21 年 12 月	平 22～平 29
別府市水道事業ビジョン	策定予定	平 29～平 38
別府市水道事業経営戦略	策定予定	平 29～平 38
別府市水道事業拡張基本計画(第8期)	策定予定	平 29～平 42
アセットマネジメント	策定予定	—